

平成 21 年度第 13 回丸子地域協議会会議次第

平成 22 年 3 月 19 日(金)午後 1 時 30 分
丸子文化会館小ホール

上田市わがまち魅力アップ応援事業・平成 21 年度事業実績報告会 [資料 1]
事例発表(丸子地域事業実施 18 団体)

ディスカッション

丸子地域協議会(実績報告会終了後)

1 開 会

2 あいさつ

3 調査研究事項

(1) 全体会議

カネボウ食堂棟活用検討専門部会活動報告

[資料 2]

第三期地域協議会への引継ぎ事項について

4 その他 ・写真撮影
・その他

5 閉 会

わがまち魅力アップ応援事業・平成 21 年度事業実績報告会について

[実績報告会当日] 平成 22 年 3 月 19 日 (金曜日)

13:30 ~ ・各団体による実績報告の発表を行います。

団体の持ち時間は 5 分で、次の項目について発表します。

事業の目的と内容。

補助金の使い道。

期待した効果、事業を実施した中での感想など (自己評価)

今後の計画 (平成 22 年度事業申込した団体はその事業内容等)

今後の課題。

委員の皆さんには、別紙 1「実績報告書」及び発表をご覧いただき、別紙 2「意見記入用紙」に記入していただくか、当日いったん戻します「継続事業分選考調書」に追記をお願いします。

「意見記入用紙」、「継続事業分選考調書」は地域協議会終了後に、事務局へ提出をお願いします。

15:00 頃 ~ ・ディスカッションを行います。

団体間で意見交換をします。

委員の皆さんからも団体に対し、ぜひ活動にあたっての助言などをいただければと思います。

16:00 頃 ~ 実績報告会終了後、休憩を挟み、その場で第 13 回丸子地域協議会を行います。

平成 22 年 3 月 19 日

旧カネボウ食堂棟活用検討専門部会活動報告

旧カネボウ食堂棟専門部会

・本専門部会設置に関する若干の背景

丸子地域協議会の第一期において、空きスペースになっている旧カネボウ食堂棟の活用について既に話題に上っていたとのことであるがそのまま経過し、本第二期協議会においても以前に地域協議会委員から問題提起がなされた経緯がある。9月の協議会において再度何らかの形でこのテーマを取上げるよう提案があり、専門部会を設置して検討をすることが全体会議で決定した。

このテーマに取り組む意義としては、当然施設の有効活用ということと共に地域予算を丸子地域の活性化のために有効に使用したいとの狙いもあり、専門部会での検討課題は適宜な活用法の調査とそのための施設整備検討が主題となるものである。

・活動経過の概要

本部会の実質的な活動期間は約 4 ヶ月という短期間であったが、その間の活動概要を以下に示す。

1. 平成 21 年 10 月度

第七回協議会全体会議で専門部会の設置が決議され、分科会で 6 名の委員の選出が行われた。委員は次の 6 名である。

| | | |
|--------|-------|-------|
| 生田 淳一 | 笹沢 暁 | 成沢 啓輔 |
| 成沢 みつ子 | 本間 陽子 | 村松 正孝 |

2. 11 月度

専門部会：第八回協議会後の第一回専門部会で正副部会長を決めると共に、専門部会要綱案、活動内容、アンケート等について話し合った。

部会長 村松 正孝 副部会長 本間 陽子

3. 12 月度 第 9 回協議会

全体会議：部会設置要綱採択（別紙要綱参照されたい）

専門部会：地域にどの程度の利用希望があるのかを知ることが必要であるとの合意が得られ、旧食堂棟利用希望アンケート調査を行うこととなった。各委員は必要と思われるアンケート用紙送付先を事務局へ提出する。

4. 22 年 1 月度 第 10 回協議会

全体会議：専門部会取組状況報告

専門部会：アンケート用紙作成、送付（事務局）

アンケート内容確認、今後のスケジュール

5. 2月度 第11回協議会

全体会議：専門部会からアンケート結果の概要報告

専門部会：アンケートの回収（事務局）

アンケート結果の討議、3月12日に専門部会で活動報告の取りまとめをし、
3月19日の協議会の報告書提出することとする。

・旧カネボウ食堂棟利用希望アンケート結果報告

1. アンケート依頼用紙及びアンケート用紙（別紙参照されたい）

2. アンケート用紙返送団体、グループ

| |
|------------------|
| 1. 中丸子自治会 |
| 2. 下丸子自治会 |
| 3. 中丸子青少年育成会 |
| 4. 丸子地域青少年指導者協議会 |
| 5. はぐHUG |
| 6. 丸子文化協会 |
| 7. 丸子ボランティア連絡協議会 |
| 8. 商工会 |
| 9. 工業振興会 |
| 10. ゆうあい まるこ |
| 11. 丸子子育てサロン |

| |
|-----------------|
| 12. 長野都市ガス |
| 13. 給食祭り実行委員会 |
| 14. JA信州うえだ丸子支所 |
| 15. ふれあい教室 |
| 16. 配食サービス |
| 17. 丸子混声合唱団 |
| 18. プライユ丸子 |
| 19. 手話ダンス |
| 20. 傾聴ボランティア |
| 21. 藤華久三社中 |
| 22. ジオラマ展示 |

その他団体名不詳 8団体

3. アンケート結果（詳細はアンケート関係資料ファイルをご覧ください）

(1) アンケートの集約

| | |
|---------|--------------|
| 回答あり | 30 |
| 利用希望あり | 16（含イベント利用） |
| 定期的利用希望 | 4 |
| | ・ふれあい教室 |
| | ・ゆうあい まるこ |
| | ・丸子混声合唱団 |
| | ・ジオラマ展示（使用中） |

(2) 設備に関する要望

水道、厨房設備、電気、照明、トイレ、冷暖房等の設置に関する要望が寄せられている。また、ステージの床の改修、防犯対策、駐車スペースの確保についての要望もあった。

(3) 産業文化遺産、景観の保持

アンケートでは同時に旧カネボウ丸子工場の需用品倉庫、食堂棟、銀杏並木、ヒマラヤ杉等の産業文化遺産や景観の保全についても意見を求めたが、大多数の団体から保存すべきとの回答があった。

4. アンケート結果について

(1) 今回のアンケート送付先が食堂棟利用に関心があると推測される総ての団体、グループを網羅したとは言えないであろうが、丸子地域の諸団体の凡その傾向は把握できたと思われる。

結果的には年に1, 2回というようなイベント的な利用の要望が結構あることが分かった。それと同時に定期的利用の要望も数点寄せられた。

(2) イベント的な利用形態では建物全体を使用するような用途が多く、一方で定期的利用の形態では間仕切りや床が必要となる。従って利用形態の差異により建屋や施設に対する要望が相容れないものとなることが想定される。この両者を両立させるような施設設計上の工夫が必要になるものと思われる。

(3) 諸設備への要望と共に防犯対策や駐車スペース確保のように付帯する検討課題も幾つかあることが提起された。

. 今後の活動について

第二期協議会における本専門部会の活動は実質的に21年11月から22年2月のほぼ4ヶ月間であり、必要と思われる活動の入り口段階で終わることとなった。現在は遊休施設に近い存在である旧カネボウ食堂棟を地域の有用な施設として活用するためには

1. 地域の諸団体、グループのさらなる利用希望の有無や具体的な利用内容の把握

2. 要望される使用目的に適した施設にするための改修計画の立案

等を遅滞なく消化していくことが求められる。

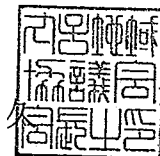
本テーマは次期地域協議会に送りされることとしたいが、次期協議会において引続いて積極的に取組まれ、上記の調査、検討がスムーズに進展し、所期の成果が得られることを大いに期待するところである。



平成 22 年 2 月 25 日

上田市長 母 袋 創 一 様

丸子地域協議会
会 長 片 桐



意 見 書

上田市地域自治センター条例に基づき、下記のとおり地域協議会の意見を提出
します。

記

| | |
|--------|--|
| 1 件 名 | 地域協議会のあり方について |
| 2 意見内容 | <p>丸子地域協議会では、協議会に課せられた任務に的確に応えるためには協議会はどうあらなければならないのかといった、協議会のあり方について話し合いを重ねてきました。</p> <p>今市政には広く地域住民の意見を聞き、より多くの情報を集め、地域の課題を住民と共有しながら、地域的課題を市民協働により解決することが求められています。</p> <p>この度、第二期地域協議会の締めくくりにあたり、今日までの協議会の論議を踏まえ協議会のあり方について、1 地域協議会の役割の強化策について、2 地域全体の発展策について、3 地域予算の活用について、4 地域自治センターとのかかわりについての4項目にわたり丸子地域協議会としての意見を取りまとめましたので、市当局の見解を求めるとともに、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 地域協議会の役割の強化策について</p> <p>(1) 施策の決定や事業等の実施にあたり、どのように協議会の意見が反映されているのか、意見の扱いや結果について何らかの形で公表されることを要望します。</p> <p>(2) 諮問あるいは意見を求められたときや、協議会として地域の意見を取りまとめる必要がある場合、専門的な意見や当事者の意見など、広く住民の意見を聴取できる仕組みや予算付けを要望します。</p> <p>2 地域全体の発展策について</p> <p>(1) 第1次総合計画の地域まちづくり方針について、その具体化にむけた検討組織の立ち上げに関係部局が積極的に係わるよう要望します。</p> <p>(2) 市民協働事業を推進するにあたり、自治会や地域の自治会連絡会との情報の共有や連携が重要な課題となっていますが、自治会と地域協議会のそれぞれの役割や機能、議員との連携について行政として考えを明示して頂きたい。</p> |

3 地域予算（持寄り基金）の活用について

持寄り基金は地域的課題に対応するとともに地域の活性化や市民協働事業の推進のため、次の各項目について第1次上田市総合計画の最終年を目途に計画的に活用することとし、各項目について市の積極的な支援を要望します。

- (1) 大塩館・徳寿荘・陽寿荘跡地活用ほか、丸子地域で積み残した事業
- (2) 地域的資源や産業文化遺産等の活用による地域振興事業
- (3) 地域コミュニティーの育成事業
- (4) 特色ある地域イベント支援
- (5) 歴史的行政資料の整理保管
- (6) 子育て・不登校児童・外国籍児童に対する活動支援
- (7) ファーストビル・旧カネボウ工場食堂棟・依水館など丸子地域特有な施設の活用促進
- (8) 単一自治会で解決できない地域共通な課題（防犯灯等）への活用
- (9) 地域的特性を高める事業支援

4 地域自治センターのあり方について

地域自治センターの役割については条例に規定されているところですが、地域自治センターにどこまで協議会として発言し事業執行を求めていけるのか、たとえば地域予算を原資とする一定額以内の事業について、センター長の特認事項として地域協議会の場で事業採択をできるような仕組みを構築することにより、より具体的に地域協議会の役割と権限が明確になると思われます。

終わりに、地域協議会は、今後ますます地域内分権が進行するなかで、地域内の意見や要望、世論といったもの等を地域の中で集約し、地域のことは地域でと考えて行動する団体や組織を市民協働の視点に立って支えていく市の唯一の機関として、市長や住民の付託に応える立場にあるとも言えます。限られた任期ではありますが、地域分権型市政の中で、委員としてのやりがいのある、責任感も充実感も持てる地域協議会でありたいと思うものであります。